



# PTA だより



令和8年3月吉日  
伊丹市立瑞穂小学校  
P T A



3月19日はいよいよ卒業式です。6年生の児童は、小学校での6年間の頑張りを、中学校で更に飛躍させてほしいと思います。また、在校生はもうすぐ春休みに入ります。新学年への期待がふくらみますね。

この1年間、生活・授業・たくさんの行事を通して、子ども達は心も体も大きく成長しました。

これもひとえに、先生方、PTA、スマイルスタッフさんを含む地域の皆様のおかげだと思っております。お世話になった多くの皆様、本当にありがとうございました。

また次年度も、引き続きご協力よろしくお願ひいたします。



## 九手PTA会長より

会長として過ごしたこの一年間は濃い一年となりました。学校教育や地域活動など、これまで知らなかった世界に触れる機会にもなり、多くの方が子どもたちに関わってくださっていることを知りました。また、過去の執行部の方々が活動の効率化を積み重ねてくれたことや、委員の皆さんとの支え合いもあり、瑞穂小全体でPTA活動が成り立っていることを実感しました。

PTA活動はボランティアですが、実際には委員をくじ引きで決めたり、活動ごとに当番表を作ったりしているのが現状です。日々忙しく過ごす中でPTA活動に消極的になるのは自然なことかもしれません。各部長さんからは、この一年大変だったとの意見がありました。一方で勉強になった、新たな交流が生まれたとの前向きな意見もありました。私の感想も全く同じで、確かに大変な時もありますが、子どもたちだけでなく保護者にとってもPTA活動は有意義なものになると思います。そのためには協力できる体制が欠かせません。次年度役員になられる方は、少しでも前向きに取り組んでいただければ心強く思います。

PTA活動の理想は、立候補制で人が集まり、それぞれが好きな分野で協力し合える形だと感じました。そのためにも「やってみてもいいかな」と思う人が気軽に参加する雰囲気、少しずつ広がっていくことを願ひます。

一年間、PTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。保護者・学校・地域がゆるやかにつながり、瑞穂小の子どもたちにとってより良い環境が続いていくよう、陰ながら応援します！

## 教養部より

11月28日(金)伊丹市青少年健全育成研修会「最近の児童相談の現場から」

場所：スワンホール 講演者：神戸保護者観察所統括保護観察官 市場徳志氏

### 【内容】

青少年の健全育成について

### 【感想】

今回の研修で保護司の方のお話を聞き、保護司の役割や活動内容について具体的に知ることができました。保護司は罪を犯した人が地域の中で再び生活していく為に寄り添いながら支援を行っている存在で、その活動は社会にとっても大切なものだと感じました。指導する立場でありながらも、相手を一人の人として尊重し信頼関係を築くことを大切にされているなと思いました。簡単なことではない中で、これらが無償でされている事に強い責任感と温かい思いを感じました。今後は保護司の方々の活動があるからこそ地域の安全や再出発の支えが成り立っているのだという意識を持って過ごしていきたいと思ひます

12月8日(月) 給食センター見学

場所：伊丹市立学校給食センター 講演者：伊丹市栄養教諭 近々様

### 【内容】

給食センターにて栄養教諭の方から、どのように給食の献立が決められ食材の選定や調理が行われているのか、パワーポイントを使いながら説明を受けました。講義を受けたお部屋から実際に調理をされている様子を見学することができました。その後給食を試食しました。

メニュー【ごはん・麻婆豆腐・ささみサラダ・牛乳】

### 【感想】

メニューの組み立て方がカルシウムやたんぱく質など1日に必要な量の三分の一以上摂取できるように考えられていたり、地産地消にこだわって作られていたりとても工夫されていました。また栄養面だけでなくクリスマス等のイベントに合わせたメニューや星形ハンバーグやラッキー人参など子どもたちが楽しく食べられるようにひと手間加えて下さっているのも素晴らしいと思いました。(5~6000食!)一番驚いたのが残った給食を給食センター内で堆肥していることです。その堆肥を市内の農家さんに使ってもらい、その野菜をまた給食にというサイクルが素晴らしかったです。衛生管理も徹底されていました。

試食もとてもおいしく量もしっかりあってお腹一杯になりました。

ただ食事を用意するだけではなく職を通して子どもの心身の健康を守り

食について学ぶ教育の一環などだと感じました。



## 教養部より

2月3日(火) ・子どもたちに忍び寄る薬物乱用の現状について  
・心身ともに健やかな幼児の育成を目指して

場所：スワンホール 講演者：鴻池小学校学校薬剤師 山嵜 弘子さん  
いけじり幼稚園教諭 村山 咲さん

### 【内容】

- ・低年齢化している違法薬物について
- ・オーバードーズ(OD)の問題
- ・薬物の断り方 薬物乱用は犯罪

幼児が自ら基本的な生活習慣を身に付ける為の保育の工夫(3歳児)  
幼児が自ら体を動かして遊ぼうとすることができる保育の工夫(4歳児)  
幼児が自ら生活を創っていきこうとすることができる保育の工夫(5歳児)

### 【感想】

昨年、中学生が大麻取締法(所持)違反で逮捕・送検される事象を含め、未成年の認識として覚せい剤に比べ大麻に対する危険性が低いと考える人が多く、好奇心や周りの雰囲気流され使用することを知りました。小学生の先生と学校薬剤師で連携し6年生に伝わる『薬物乱用教室』『オーバードーズの注意喚起』をしているということでした。そういった場面に立ちあう前に授業で知ることは大切だと思いました。

年齢に応じて子どもの対応を考え、更に近年みられる体の使い方がぎこちない子供をいかに自らの意思で成長させていくか工夫された

保育が出来ていて素晴らしいと思いました。

幼稚園が安心できる場所と言う事をわかってもらえるように幼児たちに指導したり

幼児が『やりたい!』『やってみたい!』と

興味を持たせる保育に取り組んでいるんだなと思いました。

《漢字検定》1月31日(土)実施

多数の申し込みありがとうございました。



2月7日(土) 第52回伊丹市人権・同和教育研究大会

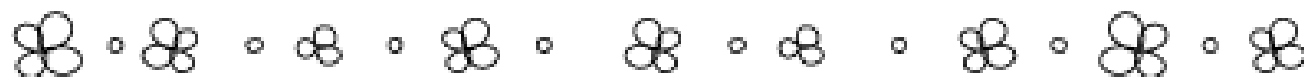
演題：「うち、これ絶対おかしいって思うねん！」 講演者：徳永 信一さん

### 【内容】

人権問題は『個人の心の問題ではなく、社会問題として捉える』こと  
そして『その社会の中にある自分の問題として意識する』ことを学ぶ  
講師の経験談を聞く。

### 【感想】

《人権・同和》とは、普段特に意識する事は無い言葉で学生の頃、道徳の授業で習った  
部落差別が頭に浮かびました。昔ほど聞かなくなったなと思っていたけど  
決して無くなっているわけではなく、当事者が言わなくなったのが多いのだと。  
講師の方が教師をしていた当時の話をされ、とても分かりやすく差別のお話をされていました。  
差別やいじめは自分には関係無い、周りでも無い、のではなく差別を受けている当事者が  
声をあげていないだけだ。とお話しされていたのが印象的でした。



## 学校行事予定

3月6日(金)	PTA 運営委員会
3月7日(土)	校内清掃・地域カレー作り
3月14日(土)	土曜みずほっ子学習(ダンス発表会)
3月18日(水)	6年生給食最終日 卒業式前日準備 13:15 下校 ①②③⑥ 14:25 下校 ④⑤
3月19日(木)	卒業式 (①~④お休み) 10:45 下校 ⑤ 11:00 下校 ⑥
3月23日(月)	給食最終日 13:15 下校
3月24日(火)	大掃除 12:15 下校
3月25日(水)	修了式 10:25 下校①~④ 11:00 下校⑤

3月26日(木)~4月7日(火)まで春休み

## スマイルスタッフさん

子どもたちの安全を笑顔で見守っていただき  
ありがとうございます。  
これからも子どもたちを  
温かい目で見守って  
いただけたらと思います。  
今後ともよろしくお願いいたします。

